第46回富山大学和漢医薬学総合研究所特別セミナー

天然物研究の最先端：創薬・ヘルスケア社会実装に向けて

開催日 2026年12月4日(金)

会　場 富山大学五福キャンパス 黒田講堂（富山市五福3190番地）

第46回和漢医薬学総合研究所特別セミナー『天然物研究の最先端：創薬・ヘルスケア社会実装に向けて』を開催いたします。

天然物・生薬研究は、医薬品開発のみならず、健康増進や疾病予防を支える新たなヘルスケア技術の創出へと発展しています。本セミナーでは、「天然物研究の最先端：創薬・ヘルスケア社会実装に向けて」をテーマに、国内第一線で活躍する研究者や企業関係者を招き、天然物研究の最新成果とその社会実装への展望を紹介します。

フードメタボロミクスや質量分析を活用した生薬研究、食品・生薬成分と腸内微生物の相互作用解析、ミトコンドリア品質管理に基づく天然物創薬、未病状態を捉える先端計測技術など、基礎研究から応用研究まで幅広い話題を取り上げます。さらに、産学連携による機能性表示食品の開発事例や、和漢薬ライブラリーを活用した研究基盤の整備、和漢医薬学研究の社会実装に向けた取り組みについても紹介します。

天然物科学の新たな可能性を共有し、創薬・予防医学・健康産業の発展と健康長寿社会の実現に向けた産学官連携のさらなる推進を目指します。

https://www.inm.u-toyama.ac.jp/event/20261204_special/

09:50-10:00 開会挨拶
齋藤　滋（富山大学・学長）
酒井　秀紀（富山大学・理事，副学長）

10:00-10:40 福﨑　英一郎（崇城大学生物生命学部）
フードメタボロミクスから生薬研究への展開

10:40-11:20 小川　順（京都大学大学院農学研究科）
健康を導く食品成分ならびに生薬成分と微生物の相互作用

11:20-12:00 津川　裕司（京都大学大学院薬学研究科）
質量分析情報計測による甘草特化代謝物の多様性と抗炎症作用の分子機構解析

12:00-13:00 ランチ

13:00-13:40 小泉　桂一（富山大学和漢医薬学総合研究所）
ラマン顕微鏡を用いた未病研究
～多発性骨髄腫の超早期（未病状態）検出医療機器の開発～

13:40-14:20 柳　茂（学習院大学理学部生命科学科）
ミトコンドリア品質管理から天然物創薬へ
―MITOLとマイトルビン研究から拓くヘルスケア社会実装―

14:20-14:30 休　憩

14:30-15:10 長友　暁史（森下仁丹株式会社研究開発本部）
産学連携による機能性表示食品創出～ローズヒップの内臓脂肪低減作用

15:10-15:50 原　太一（早稲田大学人間科学学術院）
未病をオートファジーで科学する ―生薬・漢方が拓く「保つ」予防医学―

15:50-16:00 休　憩

16:00-16:20 萬瀬　貴昭（富山大学和漢医薬学総合研究所）
和漢薬ライブラリーの利用とその将来展望

16:20-16:50 東田　千尋（富山大学和漢医薬学総合研究所）
和漢研の社会実装研究の紹介

16:50-17:00 閉会挨拶
東田　千尋（富山大学和漢医薬学総合研究所・所長）

主　催：富山大学 和漢医薬学総合研究所　事務局：富山大学 和漢医薬学総合研究所　〒930-0194 富山市杉谷2630
お問い合わせ先：wakanken@inm.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ